



〜グルっとまると栄村100kmサイクリング〜

累計標高2,500m！日本屈指の山岳サイクリングが今年も開催されました。

当日は30℃を超える猛暑日となりました。各エイドステーションでは、地元野菜や手料理などが振る舞われ、参加した選手らは、ボランティアの皆さんのサポートも存分に受けつつ栄村の自然の中を走破しました。

※詳細はP 2-3へ

主な内容

- 栄村100kmサイクリング特集 …… P 2-3
- 栄村成人式 …… P 4
- 土合橋近況報告についてほか …… P 5
- 国民健康保険証更新についてほか …… P 7
- 広島平和学習 …… P 10-12
- 保健だより …… P 15
- 公民館報(第324号) …… P 18-25

銀座NAGANO 信州の長寿ごはん イベントに栄村が 出店!

9月20日(木)、東京銀座NAGANOで開催されるイベント、『横山タカ子さんの信州の長寿ごはん』に栄村が出店します。栄村の食材を使った「一汁三菜(四葉)」料理を、村の有志の女性グループ「ごつつおの会」が提供します。

- ◆「一汁三菜(四葉)」提供予定メニュー
- ・主食 きびごはん、かてぜ
- ・汁物 季節野菜の味噌汁
- ・主菜 茄子とニシンのいみじ煮 棒ダラ煮
- ・副菜 ぜんまい煮
- ・副々菜 わらびの酢の物
- ・漬物 胡瓜のからし漬

イベントの目的は、栄村地元産の食材を使い昔から伝わる郷土料理を村外の方に食べていただく場所を提供し、村の郷土食を長寿へ繋がる健康食として外部へ向けてPRする情報発信の場とするものです。またイベント後は、村内での郷土料理を提供する場を期間

限定で設ける予定です。栄村の郷土食が広く世間に周知される第一歩となることが期待されます。
【問合せ先】
特命対策課
☎0269-87-3111

「NPO法人設立講座 (北信合同庁舎会場)」 の受講者募集について

長野県では、NPO法人を立ち上げて社会貢献活動をしたい方を対象に、講座を開催します。

- ◇開催日 9月26日(水)
- ◇時間 13時~15時
- ◇会場 長野県北信合同庁舎2階 202・203会議室
- ◇申込方法 左記締切日までに申込書記載のうえ、県民協働課へFAX、電話またはメールでお申し込みください。
- ◇申込締切 9月21日(金)
- ◇講師 特定非営利活動法人 長野県NPOセンター

※詳しくは長野県公式HPをご覧ください。左記までお問い合わせをください。
【申込・問合せ先】
長野県県民文化部 県民協働課
☎026-235-7189

保育園運動会 開催について

今年度も左記の日程で、北信保育園運動会が実施されます。

- ◆日時 平成30年10月6日(土) 8:30~
- ◆場所 栄小学校校庭 (雨天の場合..栄小学校体育館)
- ◆日時 暑さ対策をお願いします。
- ◆日時 暑さ対策をお願いします。

普通救命講習会 受講案内

もし、あなたの大切な家族や友人が突然倒れたとき、あなたなら何ができますか?

私たちは、いつ、どこで突然のケガや病気におそわれるかわかりません。そんなとき、バイスタンダー(近くに居合わせた人)が、適切な応急手当を実施することで、救命率の向上を図ることができます。

岳北消防本部では、地域の皆さんにより多くの応急手当の知識と技術を身につけていただくため「普通救命講習会」を開催します。

- ◆開催日時 11月11日(日) 9時から12時まで
- ◆開催場所 岳北消防本部 飯山消防署 講堂
- ◆開催内容 応急手当の重要性、AEDを含めた心肺蘇生法、止血法、異物除去法など
- ◆募集定員 30名
- ◆定員になりしだい締め切らせていただきます。
- ◆受講料 無料
- ◆修了証 講習修了者には「普通救命講習修了証」を交付します。
- ◆申込締切 11月2日(金)
- ◆その他 当日は実技のできる服装をお願いします。筆記用具及び飲み物等は各自で用意してください。

都合により欠席される場合は、事前に飯山消防署までご連絡ください。
【問合せ先】
飯山消防署
☎0269-62-0119
栄分署
☎0269-87-1119

秋山協力隊通信

Vol.39

苗場山麓ジオパーク通信

40



暑さが残っていますが日に日に秋らしくなっている今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。早いもので私が秋山郷に移り住み半年が経過しました。今回はこの半年、春以降に私が遭遇した問題点を書いてみたいと思います。きつと共感してくれる方も多いと思われれます。

まず一つ目は動物被害について。今年私的にですが畑で夏野菜づくりをしていました。しかし、私の作った野菜は動物たちに、今回は特にナスをおいしく食べられてしまいました。犯人はハクビシンとサルです。収穫予定の深夜から早朝にかけて一番の食べごろが被害に。収穫量は想定半分に足りずです。今後、ジャガイモの収穫を控えているのですがすでに一株様子見のごとくサルに抜かれてしまっており、サルとの知恵比べが必要になってきます。せめてもの救いは皮を残さず食べられていたことでしょうか。



▲ハクビシンの被害に遭ったナス

二つ目はたくさんさんの虫について。今年の秋山は例年の倍くらいとも言われる多数のアブが飛び回っています。車に乗ろうとすると10匹近くが同乗希望とばかりに殺到してきます。アブ相手には香取線香なども効き目が弱いようで、ハエ叩きは必須道具になりました。ただアブ以上に厄介なのがカメムシです。我が家は空き住宅の際にカメムシの巣になっていたみたいです。春と秋はカメムシでいっぱいですが、多い時は一日に50匹以上を捕獲しました。量的にどっちが家主なのか分からなくなりますが、今では慣れた同居人になりました。

最後は土地に関係なく天候について。7月中雨がまったく降りませんでした。秋山でも8月には一時、用水路の水が減少しました。また、土がよく乾くせいで野菜の皮が硬いです。農作物には優しくない夏でした。秋以降の台風も心配になってきました。この様な問題に四苦八苦ししながらもここでの生活を楽しんでいきます。これから秋、栄村で一番の観光シーズンになります。協力隊としてこの時期を盛り上げていけるよう更なる努力をまいりますので宜しくお願いします。

(地域おこし協力隊 石川泰正)

今年の夏の気候は少し変な気がしますね。雨が降らず猛暑が続いたと思ったら、急に夜は20度を下回ったり、また暑さがぶり返したり、突然豪雨が降ったり。ジオパークガイドではお客様の案内をするときに天候により注意することが大きく変わります。

苗場山麓ジオパークでは毎年、ガイド向けの救急救命講習や、リスクマネジメントの研修を行っています。

「ガイド?ただ案内するだけでしょ」と思うかもしれませんが、自然が豊かなこの地域では注意をしなければいけないことは多くあります。

たとえば、案内している最中のハチ、ヘビへの対処、クマにも遭遇するかもしれないかもしれません。また、歩くルートには落石や土砂崩れの形跡がないか、あった場合にはど



▲リスクマネジメント研修

のような対応をするか。そういったことを、天候も含め事前に複合的に考えなければなりません。

認定から4年たち、住民もお客様も含め、ジオパーク活動に参加する皆さんの安心安全を守るために継続して、情報の収集や、対応策の構築など、進めていきたいと思えます。

皆さんも、ジオサイトの近くなどで、落石や、スズメバチの営巣など危険を感じるごことがありますたらジオパーク推進室までご連絡ください。(文責 越智)

ジオパークお宝巡りのお知らせ

【日時・内容】

9月9日(日) 9時～15時半

「鈴木牧之のたどった道歩く」

秋山郷大赤沢～上野原周辺を徒歩やバスで散策します。

参加無料。どなたでも参加できます。

【持ち物】

帽子・屋敷・飲み水・林を歩いても大丈夫な服装

【申込み・詳しい問い合わせ】

苗場山麓ジオパーク推進室
0254-765-1600

※ジオガイド養成講座も兼ねています。ガイド認定試験の受験を考えている方はぜひ参加ください。

スポーツで村を元気にしたい!



今年7月に開催した大会の様子

代表 齋藤 大輔
 栄村ソフトバレーボール愛好会
 は、みんなでワイワイ楽しく試合をしたり交流することを目的に、毎年2、3回の大会を開催しています。と言っても、愛好会として関わるようになったのは3年前。もともと栄村でソフトバレーのナイター試合が行われるようになったのが何時だったのかはつきりとはわかりませんが、中学1年の時に同級生とチームを組んで出場し、ボロ負け。それから毎朝練習を行って、中学3年の時には優勝したことを覚えています。その時の楽しさを忘れられず、栄村へ戻ってきてからもバレーに関わってきました。今は亡き樋口民子さんに「若いのもっとバレーをがんばれ!」と言われていたことが背中を押し、ソフトバレーを楽しみたい仲間と共に3年前に愛好会を引き継ぎました。実際にソフトバレーボール大会を開催してみると、意外にたくさんの方

ムから申し込みがあり「がんばって大会を開催してくれ!」という声もありました。以後、ソフトバレーボール大会が盛んだったころのように、年2、3回開催することを目標に、時には村内企業から協賛をいただきながら大会を開催しています。現在では子ども連れの若者もたくさん参加してくれていて、子どもたちもその雰囲気を楽しんでいます。
 開催していると欲が出て、ソフトバレーだけでなく、卓球大会やちゃんばら大会、さらには村民運動会を開催したくなり、スポーツで村を元気にしたいといういろいろな話をしています。
 次回ソフトバレーボール大会は9月11日(土)のナイター戦と10月28日(日)の一日開催で計画しています。身近な仲間チームを作って、ぜひ参加してください。
 個人的な事ですが、ソフトボールも盛り上げようと9月9日(日)に開催しますので、ぜひ見学にきてください。
 スポーツイベントの開催に協力したい、関わりたい方は遠慮なくご連絡ください。

公民館報

さかえ

第324号

平成30年9月1日発行

- 発行
 栄村公民館
 〒389-2703
 長野県下水内郡栄村
 大字堺9214-1
- 電話
 0269-87-2100
- 編集
 栄村公民館報編集委員会

こらっせ通信

猛暑が続き、水不足が心配された今年の夏。8月11日頃からまとまった雨が降り始め、それと同時に家前にはたくさん車の車が停まり、帰省してきた子どもたちや孫たちでにぎわう様子が見られました。お盆にお祭りをを行う地区では、続く雨マークにヤキモキした方も多いのではないのでしょうか。

こらっせも、帰省された方や観光にいらした方、指定文化財を見に来た村民と、多くの方でにぎわいました。



・30年度(4月～8月末)
来館者数……………884名
・オープン(28年8月)以降
来館者数……………5,304名

現在こらっせでは…

小赤沢地区にある黒駒太子堂に保管されていた栄村室「黒駒太子画像」を撮影したものが実寸大で展示されています。

この黒駒太子画像は、鈴木牧之(秋山記行著者)が訪れた文政11年(1828)の時には既にあったようで、秋山記行には、牧之が見せてほしいと所有している方をお願いをしました。盆と正月でなくては開帳できないと断られたことが記されています。今から190年以上前から守られ受け継がれてきた黒駒太子画像をぜひ見に行ってください。

こらっせ展示物出張中

● 火焰型土器

→津南町なじよもん
「火焰土器の魅力」特別展

● 横倉遺跡

→群馬県みどり市岩宿博物館
第66回企画「石槍」



栄村自然学校で栄村の大自然を満喫!!

栄村青少年育成協議会が主催する自然学校で、8月2日(木)から2泊3日のキャンプを行いました(のよさの里キャンプ場)。今年のテーマは、栄村の大自然を堪能すること。1日目はテントはりやマイン箸づくり、野外炊事とキャンプ恒例の活動を行い、2日目には雑魚川流域において一日かけて沢登りを行いました。水の冷たさや美しさ、溶岩石の美しさと、自然の豊かさを目で見るだけでなく、実



際に肌で感じることでできたのではないのでしょうか。そんな活動を支えているリーダー(村内の中高生)たちも、神経をはりめぐらせ、子どもたちが安全に楽しく活動できるようにと全力を尽くしてくれました。特に、恥ずかしさを捨てて挑んだキャンプファイヤーは、子どもたちの記憶に深く刻まれたようです。

こらっせ周辺改修整備を行いました

志久見区のみなさんにご協力をいただき、こらっせ周辺の整備を行いました。これにより、こらっせ駐車場から内池館までがグツと近くなりました。



一石を

投じる

山の資源を活かす

「栄村のいいところはどこですか」と伺うと、多くの方が「自然が豊か」と答えます。確かに栄村は270キロヘクタールもの広大な面積を持ち、その92・8%は山林原野と木々の緑であふれています。「豊か」と一言に言っても目で見ただけではわからない豊かさがたくさんあります。山菜や木材と言った生活に活かすことのできる資源が豊富であったり、希少生物が生息していたりと実際に暮らしに触れて、その土地に関心を持つことで初めてわかる「豊かさ」もあるように感じていきます。

栄村は昔、田畑だけでなく、山の資源を活かして暮らしを営んできました。社会の変容と共に自然資源を活用する場面も少なくなりましたが、現在でも薪を切り出したり山菜を採ったりと山の資源を活用した暮らしを営んでいる方が

います。栄村公民館報では、山林資源を活かしていきいきと暮らしている村民を取材してきました。

ワラビやゼンマイ、 タケノコ採りツアー やっています



小林 清治 さん
(泉 平)

最近ではコシアブラも一部加えているが、主力はワラビ採り。5月半ば前から6月一杯にかけて週3回のツアー客を募っており、毎シーズン300名前後のお客さんに利用してもらっている。ゼンマイは、採っても茹でるのが大変な方もあるので、茹でるところまで心配したり、乾燥したものを販売したりもしている。

既に20数年前からこの仕事をしているが、この仕事を始めたきっかけは1975年の減反政策。当時農協に勤めていて、農協や村では米に代わる特産物を考えなければ

ばということ、加工トマト、イチゴ、山ゴボウ、アスパラ、ナメコ、タケノコ、タラノメ等いろいろなものを試みた。ゼンマイも当時水田転作として導入され、村全体で5町歩ほど転作。この中には現在も残っているものもあるが、なくなってしまったところがほとんど。

自分自身、山菜を農協に出荷していたが、山菜と観光を結びつけた取組みを始めたのは農協を辞める少し前のこと。観光と結びつけることにより自分で採る手間を省くことができ、ワラビやゼンマイには若干の肥料は与えるが、山菜は無農薬で栽培できるため経費がさほど掛からない。オフシーズンには草取りや刈り払い、森林の枝打ち等の世話が必要だが、自分にとってはほとんどが趣味のうちに入るので、それほど苦にはしていない。

栄村は山の木材は豊富だが、今の段階では例えチップとして売るとしても価格が安くてあまり採算に合わない。集成材などにしてそれなりの価格で出荷できればよいと思う、そのためには近くにそういう工場ができる必要がある。

(ここは取材者との対話の中で)
取材担当…齋藤好明編集委員

山の生り物で

産業を営んだ



山田 政治 さん
(五宝木)

山には、雪が消えてから雪が降るまでいろいろなものがある。ワラビやキノコ、薬草、きくらげで年間300万稼ぎ、冬の出稼ぎへは出なかった。山で稼ぐのはむずかしいというが、それはただ山の物を知らないだけ。山の物で稼いだお金で車を購入した時は本当にうれしかった。

山から得られる物だけでなく、畑のすみにマタタビを植えたり、耕作しなくなった田んぼにワラビを植えたり、ブナの苗木を植えたりと、山の土地や資源を活かした産業・暮らしを営んできた。ブナの木を植えた時、植えた苗が孫やひ孫の代までつながると思っただけで植えた。

今はあまり苗木を植樹する人がいなくなったが、先のことを考え

て、少しでも植えて育てていってほしいと思う。孫やひ孫に継ぐために…。

取材担当…阿部美代子編集委員

資源を有効活用して栄村暮らしを満喫してます



大庭光一さん (箕作)

動画サイトでエコストーブ（ロケットストーブ）を見たことがきっかけで、自分にも作れそうだなと思い一斗缶で作成。それをきっかけに、栄村には燃料が山ほどあることに改めて気づかされた。エコストーブは木の枝や廃材でも十分火力が上がる。山にある枝や廃材をもったたくない感じ、それらをうまく活用できないかと考えている。他にも釣りが好きなので、その辺に落ちていた鳥の羽を材料に、毛ばりを作っている。

取材担当…齊藤和代編集委員

昭和40年頃までは、山の資源は暮らしに欠かすことのできない食料、燃料、材料を調達する貴重な財力でした。その後労力を費やさなくても安く手に入りやすい燃料や物資が市場を埋めつくし、出回ったことによって、山に入る人が急激に少なくなったように思います。現在では、山林には低木が生い茂り、休耕田の増加や人口減少なども伴って「山が近くなった」という声を多く聞きます。

大庭光一さんが作成したというロケットストーブは、今年3月に講演してくださった和田芳治さんも制作しており、①防災に強い②燃料費がかからないことを売りにして、教室開催のため全国各地を飛び回っています。光一さんの言うように、栄村には、汗はかきませんが、ただで手に入る燃料が山ほどあります。

雪が消えてから降るまで、活かす資源が沢山あるという政治さんが言うように、私たちは山林で活かす植物を知らないだけかもしれません。もつと山を知ることでも有効に活用できる資源がゴロゴロとしているかもしれません。

山の手入れを行いながら、山菜と観光を繋げた小林清治さん。土地を有効に活かし、手入れをして

林に光を入れることで、山の恵みである山菜を産業に活かしています。

冒頭にも述べましたが、栄村の92.8%（265キロヘクタール）が山林原野です。これを「資源」と捉えることができれば、里山の魅力を引き出す様々な可能性が見えてくるのではないのでしょうか。

小滝集落のある方が、「古道の草刈りをはじめたら様々な希少な山野草がたくさん出てくるようになった」とおっしゃっていました。小林さんも山を管理することでたくさんの山菜という資源を得ています。和田さんは「草を刈れ」「里山は、人が自然資源を活用して、初めて得られるもの」ともおっしゃっていました。

来年度から国の森林管理に関する法律が変わります。これに備えて、長野県では森林税を活用した様々な森林管理・活用に関する事業の準備を進めているようです。

近年、石油の高騰や東日本大震災後の原発事故によって、持続可能なエネルギーが注目され、薪ストーブやペレットストーブといった、木材を利用した暖房に関心が高まっているようにも思います。そこに関心が高いということは栄村にも新たな産業誕生のヒントが

隠されています。

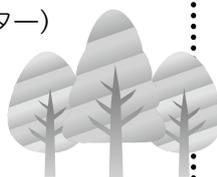
前回の郷土食についてもそうでしたが、まずは関心を持つことが大切です。そして栄村の山の特性を知り、資源の活用について考え実践してみましよう。「できない理由は探さない」と多くの実践者は語ります。

村の膨大な資源活用について考えてみませんか。

栄村公民館講座

栄村の森林の特性を知り、資源活用について考えてみよう

- 講師：小山泰弘氏（長野県林業総合センター）
- 期日：9月18日(火)
- 時間：午後6時30分～午後8時30分
- 会場：栄村公民館



『鮭獲りの権利を売る』(二)

あーそんなことがあったんか、ど先生の栄村昔語り、其の二十八



地域史料保全有志の会
鈴木努(通称:ど先生)
イラスト作成:佐藤洋平

この夏は記録的な酷暑となりました。どこまで暑くなるのかと目を見張る思いでしたが、いっぽうでひと雨来て冷え込んだ翌日は一気に三〇度を超え、そんな時は二日間の寒暖差が十二度にもなりました。記録的な豪雨災害もあり、慌ただしい夏だったと思います。

さて、前回の続きです。鮭川の証文について、内容をみてみましょう。

実際に鮭川という地名があるそうです。

もちろんこの証文の鮭川は地名ではなく、鮭が遡上する川、あるいは鮭が獲れる川を指します。そして獲った鮭には税がかかるので、ひいては税を払って鮭を獲っている川、という意味になります。この川で漁期にあたる旧暦八月から十一月に鮭を獲る権利が、この証文で売り買いされたものです。鮭川の権利は数人で分け持っており、留之助と庄右衛門は同じ中条川で権利を持っていて仲間でした。それぞれの持ち分を「川坪」と言っていたようです。「川坪」は留之助の証文の方にだけ書かれた文言ですが、普通は「私持ち分の川」とだけ書かれるので、珍しい言い方かも知れません。

『栄村史』界編に載っている漁場の質入れ証文が春秋二季の「鮭鱒川(春は鱒、秋は鮭の漁期にあたります)」を引当てにしているもので、鮭川の権利は漁期に限ったものだったと思われます。史料では確認できていませんが、漁期になると、鮭川仲間でないが普段通り何気なく川べりに立ち入って思わぬトラブルになることもあったのでは、と思います。

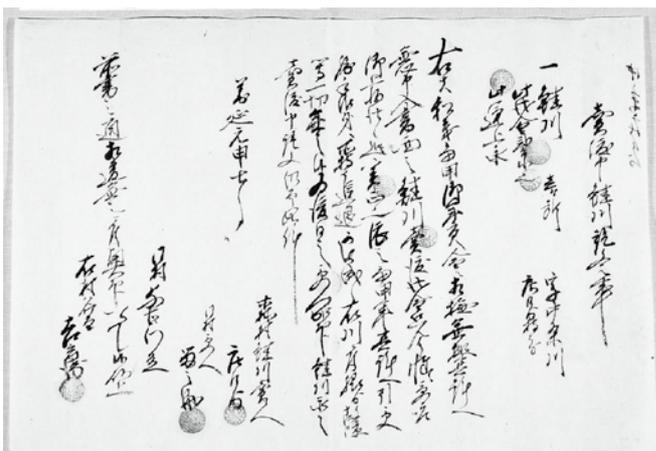
江戸時代に千曲川や支流でどのくらい鮭が獲れたか、栄村内では漁獲高を記した古文書がまだ見つかっていないので、『津南町史』を参照してみます。津南町の旧外丸村小島の高橋家には信濃川(千曲川)の漁場での漁獲高を記した「荒瀬魚取帳」という古文書が伝わっています。それによれば江戸時代後期の天明二年(一七八二)の漁期の内に、川子八人の組で一六四尺(鮭一匹を一尺と表現します)の漁獲を得て、進物と自家用を除いた売上げが一四両三朱余あったそうです。

また江戸時代最大の漁獲は天明八年、ある組が四五五尺を水揚げした、とあります。その頃の鮭の値段は、大きさや種類により、五十文から高いものは五百文になったそうです。天明期ごろは金一両がだいたい六〇〇〇文だったそうですから、五〇〇文は金では一朱と少し、銀なら五匁になります。そこまで高い鮭は減多に獲れないでしょうが、前回紹介した庄左衛門が鮭川を手放した値段が金二朱で

すから(万延年間には金一両が銀六五〇〇文でした)、鮭獲りがいかに儲けが大きかったかわかると思います。

続きます。

【江戸時代の銭一文はいま何円?】江戸時代の両替の率と現在の金の価格で換算すると、銭一文はだいたい五円から一二円になります。商品によってはもつと上下し、最近の鮭の値段で比較すると一文は八〇円くらいになるようです。



「庄左衛門の鮭川証文」

廣瀬博明家文書

図書室だより

盆が過ぎれば日は短くなるばかり…「秋の夜長といえば読書」シーズンの始まりです。

買って部屋の片隅に積みっぱなしの本はありませんか。読まずに積んである本を「積読(つんどく)」と呼ぶそうです。この言葉は読書が家庭における娯楽の中心であった明治時代に生まれたそうで、明治時代からこんな言葉があったということはそれだけ積読をしていた人たちが存在していたわけですから驚きです。積読を解消する必要はないという意見もありますが、買った時の気持ちを思い出してこのシーズンにひっぱり出すのも積読ならではの楽しみかもしれませんね。

役場2階の公民館図書室にもぜひ足を運んでください。

秋の夜長に備えて…

新着図書そろえました！

- ・引き抜き屋①② (粟井 脩介)
 - ・雪割草 (横溝 正史)
 - ・平凡な革命家の食卓 (樋口 有介)
 - ・キラキラ共和国 (小川 糸)
 - ・ののほな通信 (三浦しをん)
 - ・下町ロケット ゴースト (池井戸 潤)
 - ・西郷どん！ (林 真理子)
- 他15冊

村内移動図書計画中…

冬支度を終えた11月から3月までの冬期間、村内各集落を巡回する移動図書を実施します。昨年度は、延べ147名の方にご利用いただきました(貸出冊数481冊)。

栄村
公民館

図書室開館情報

栄村に図書館はありませんが、図書室として役場2階の一角に、栄村公民館図書室があります。自由に入出りできますので、お気軽にご利用ください。図書室にお求めの本がなくても、県立図書館から取り寄せることもできます。

- 開館日 平日：午前8時30分～午後5時
土日：午前9時～正午
 - 休館日 祝日及び祝日のかかる土日(連休)
- ※土日は図書ボランティアの協力で開館しています。

図書ボランティア募集中

本が好きな方、ゆっくり本を読む時間がほしいと思う方。当番は月1回程度です。興味関心のある方は、栄村公民館図書室(87-3118)までお問い合わせください。

4か月、入園児(3歳)、入学児に本をプレゼントしました

子どもたちにたくさんの本にふれてほしいと願い、栄村公民館では子どもたちへの図書プレゼントを行っています。たくさんの物や色、お話に出会って心豊かに育ちますように。



おおきくな〜れ



やんちゃな長男
食いしん坊な次男
甘えん坊な三男です

じん 向くん(6歳)・こう 向くん(4歳)・かい 介くん(1歳)

これからも個性豊かに仲良く大きくなーれ
勝家玄太さん・志穂さん宅(横倉)

年輪 153

年輪は風雪に耐えて積み重ねた歴史であり銘木の条件でもある。激動の明治・大正・昭和そして平成を生きてきざみ込まれた人生の年輪は磨かれた銘木のごとく輝く。

- ①人生を振り返ってみて…
- ②今思うこと・言いたいこと



齋藤忠三 (86歳) 天代



山本さよ子 (86歳) 野田沢



山本あき (88歳) 野田沢

②この栄村の自然の中で暮すことの意味をよく考えて、先人が守り活用した財産をすたれないように遺して欲しい。

①親父と植林をしたり、田を掘ったりして先祖からの土地を守ってきたと思っている。養蚕、キノコ栽培、養豚、キハダ、ワラビ、稲作等々あらゆることをして暮してきた。自分で携わり思い入れのある杉林が、いつの間にか騙されて人手に渡っていたこともあった。自分の山の場所や、法的なことなどもっと勉強すべきと感じた。材木の価値が下がって山を放置していることが切ない。

②何の心配もなく暮らせていることに感謝している。せつつえもん畑を育て、市場に出したり姉妹や子どもにもあげるのを張り合いに、自然体で最期まで過ごしたい。

①主人に先立たれたことが一番つらかった。それから一人暮らし。子どもの頃、父親はずっと戦争に出たきりめつたに帰らなかった。母は病弱で祖父母に育てられた。主人と結婚して迎えられた時は家中で喜んだ。テレビはあまり見ないが、ラジオの深夜番組で昭和歌謡を聞くのが楽しみ。

①苦労の話なら尽きない。両親とも早くに亡くなった。小面積の田畑が数多く散らばり、管理が大変だった。8人兄弟の4番目。98歳の姉を含め、みんな達者でいる。みんなが元気なうちにと、兄弟会を開いてもらって全員が集まったときはうれしかった。

②今までよく頑張ったと今思っている。じつとしていられない性分なので、よく些細なケガをしていますが、病気はしたことがない。丈夫に産んでくれた両親に感謝しながら、若いもんに心配かけないように健康でいたい。

第40回 栄村総合文化祭

10月21日(日) 開催!!

毎年恒例となっている栄村総合文化祭も今年で40回目。節目の文化祭を村民みんなで盛り上げましょう!!

現在、ステージ発表者、展示出展者、のどじまん大会出場者募集中!!

詳しくは配布したチラシ、もしくは栄村公民館 (☎87-2100) までお問い合わせください。



人権ミニ講座③

～「ありがとう」の気持ち～

みなさんは一日にどれだけ「ありがとう」の気持ちを伝えていますか? 「ありがとう」と言われて嫌な気持ちになる人はいないと思います。「ありがとう」は、自己肯定感を高める言葉とも言われています。たしかに、「あ～やってよかった」「役にたててよかった」そんな気持ちになりますね。

「福祉サービスの充実」と全国的に取り組まれています。「介護」をすることだけを考えるのではなく、高齢だからこそ持っている知識や経験を教えてもらう、相手にできそうなことをお願いする、そうした関わりからお互いに「ありがとう」と言われる場をつくることも大切です。家族、地域で一人ひとりが感謝されることで、笑顔あふれる村になるのではないのでしょうか。



今年の夏は猛暑と言われるように暑かったですね。その分、稲の成長はいいみたいです。実りの秋を迎えます。おいしいお米が食べられるといいですね。

◎美

編集後記



村民広場

この4月に飯山高校に入学して、日々楽しい学校生活を送っています。高校に入ってから音楽太鼓や吹奏楽を続けています。部活では楽器が変わり、高校の授業の進度が早かったりと大変なことがあります。両立できるように一生懸命頑張っています。また、クラスメイトも多いので、毎日たくさんの刺激を受けています。これからも楽しい学校生活が送れるといいなおもっています。 広瀬友郁さん(15歳) 白鳥

今月の一句 ～栄村俳句会～

炎天は被災者の背に容赦なく	桃の枝に二匹の蛍留まれり	持ってけときゅうりももらうピラ配り	千曲川黒くうねりてねぶの花	涼風や脳トレ体操お達者会	峡の村郭公の声すき通る	素直なる心で老いたしキウリ採る	根曲も竹と伸びよ吾が孫も
杉浦恵子	柳 静江	馬場澤子	関谷貞子	斉藤はる子	福原勇一	山田セキ	山田政治

